

# がん検診に関する検討会（第7回）議事次第

平成16年12月20日(月)

14:00～16:00

於:経済産業省別館各省庁共用会議室

(経済産業省別館10階1028号室)

## 1. 開 会

## 2. 議 題

( 1 ) 乳がん検診・子宮がん検診における  
精度管理のあり方について

( 2 ) その他

## 3. その他

## 4. 閉 会

# 乳がん検診・子宮がん検診の精度管理のあり方について (案)

## 1. 背景

- 本検討会では、平成16年3月に乳がん検診及び子宮がん検診の見直しについて中間報告を取りまとめ、それに基づき同年4月にがん検診に関する指針の改正が行われたところである。
- また、同年5月に与党幹事長・政調会長会議により策定された健康フロンティア戦略では、平成17年より平成26年までの10年間の実施期間で「女性のがん緊急対策」として、乳がん検診及び子宮がん検診の積極的な推進を図ることとしている。
- このような中、厚生労働省においては、平成17年度より検診体制の充実、受診率の向上を目的とした新規事業の実施を検討しているところであるが、精度管理の徹底については十分な対策が講じられていないのが実情である。
- このため、本検討会では、乳がん検診及び子宮がん検診の精度管理を徹底するための市町村の取組について検討することとする。

## 2. 検討事項

### (1) 総論

#### ○ 精度管理の目的

がん検診の精度管理は、がん検診を実施する際、早期がんを可能な限り多く発見すること、がん検診によるがんの見落としを無くすこと、また、不必要な検査や不安を減らすこと等を主眼としている。(カナダ、ガイドラインより)

#### ○ 精度管理の手法 (図参照)

・がん検診の精度管理については、各検診機関の設備の性能基準や実施担当者(技師、医師など)の習熟度が一定の水準を満たしているか等について示すプロセス管理がある。(米国FDAの立ち入り検査・認証制度など)

・受診率、要精密検査率、がん発見率などについての数値基準を示し、その基準に合致しているかどうかを検討するアウトカム管理も行われている。(資料1参照)

#### ○ 国、都道府県等の役割

#### ○ 市町村の役割

#### ○ 精度管理に係るガイドライン等の活用方法

#### ○ (検診実施者の役割)

## (2) 現状と課題

### ○ 市町村における現状と課題

市町村においては、がん検診の一般財源化に伴い、経済性が優先され、精度管理の向上といった視点が十分でないことが指摘されている。

### ○ 都道府県における現状と課題

都道府県においても設置されている成人病検診管理指導協議会において精度管理の強化が求められているが、必ずしも有効に機能していないとの指摘がある。

### ○ 国における現状と課題

### ○ (検診実施者における現状の課題)

## (3) 各論

### ○ 市町村における具体的な対応策について

### ○ 都道府県における具体的な対応策について

### ○ 国における具体的な対応策について

### ○ (検診実施者における具体的な対応策について)

### 3. 今後のスケジュール

#### 第7回検討会（12月20日）

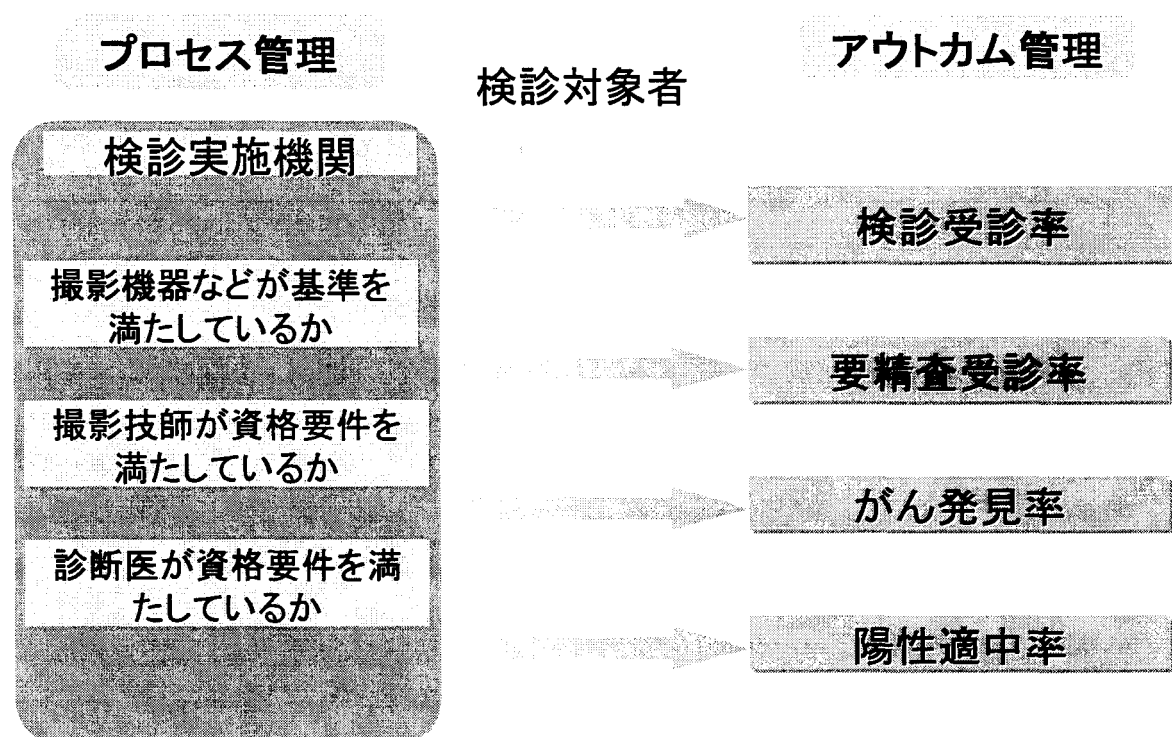
- 「がん検診に関する検討会中間報告（平成16年3月）」  
取りまとめ後の取組について
- 市町村における、乳がん・子宮がん検診に係る精度管理の  
取組について

#### 第8回検討会（2月上旬）

- 市町村における、乳がん・子宮がん検診に係る精度管理  
手法の取りまとめ
- その他

#### 予備日（2月下旬）

## 図：がん検診の精度管理



## 第7回 がん検診に関する検討会 資料一覧

### 資料1. 諸外国における取組例

#### 資料1-①. 諸外国ガイドラインの例1

Quality Determinants of Organized Breast Cancer Screening Programs  
in Canada (カナダ)

#### 資料1-②. 諸外国ガイドラインの例2

NHS Breast Screening Programme (イギリス)

### 資料2. 委員等提出資料

#### 資料2-①. 大内委員提出資料

#### 資料2-②. 佐川参考人提出資料

### 参考資料

参考資料1 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正  
について

参考資料2 マンモグラフィによる乳がん検診実施状況等の調査結果について

参考資料3 健康フロンティア戦略

参考資料4 女性の健康を守るために (座談会) (雑誌「厚生労働」11月号)